

- 学習の確認 -

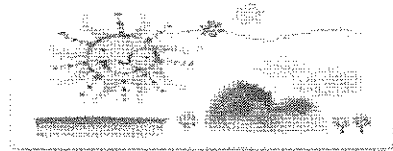
今週 11/14の 学習内容	国語①	アップとルーズで伝える
	国語②	「養・省・浴・芽・徒・競」
	算数	小数のわり算1
	社会	②特色ある地いきと人々のくらし・コウトリを育てるまち、豊岡市
来週 11/21の 学習予定	国語①	クラブ活動リーフレットを作ろう
	国語②	「歴・史・博・衣・健・康」
	算数	小数のわり算2
	社会	②特色ある地いきと人々のくらし・城を守るまち、姫路市
今週の 宿題	国語①	○アップとルーズで伝えるの学習を通して、リーフレットを作ります。そのとき使うアップとルーズの写真を用意しましょう。写真が用意できない場合は、アップとルーズの絵を書いてきましょう。 ○音読 指定音読です。音読カードをご覧ください。 ○ドリルの王様⑳㉑
	社会	○プリント一枚(丸付けもお願いします。)わからない時は、教科書を見て取り組んでもかまいません。教科書から答えを探すのも、学習の一つです。習った漢字は、漢字を使って書くようにしましょう！
	算数	○算数ドリル(下)26, 27, 28
	国語②	○本日学習した漢字学習ワークのページをすべて終わらせましょう。 ⑤で2つの文を作るようにするといいですね。

お知らせ

- 通知簿を返却いただきましてありがとうございました。まだ提出されていないご家庭は、来週必ずお子様に持たせてください。
- 来週の外部者対象学校見学会は、外部の方が見学対象です。何卒ご了承ください。
- 11月28日はThanksgiving Dayの週末のため、お休みです。
- 漢字検定の申し込みを、ホームページの保護者ページのお申込み機能より受付中です。
申し込み締め切りは、11月29日中です。



4年生音読カード



11/14

なまえ

とてもよい◎ よい○ もうすこし△

月 日	読んだところ	間のとりに注意 して	よくようをつけて	相手を意きして	おうちの人のサ イン
/	指定音読① 「アップとルーズで伝える」 P34-P39				
/	指定音読② 「クラブ活動リーフレット」作 ろう P44-P47				
/	指定音読③ 社会の教科書 P132-P133				
/	指定音読④ 社会の教科書 P134-P135				
/	指定音読⑤ 「アップとルーズで伝える」 P34-P39				
/	指定音読⑥ 「クラブ活動リーフレット」作 ろう P44-P47				
ここまでがんばろう！ちりもつもれば山となる！毎日少しずつチャレンジしよう★					
/	自由音読①				
/	自由音読②				
/	自由音読③				
/	自由音読④				

先生のサイン

上
野
大

教科書のトレ=ニング

問題をといてみましょう！

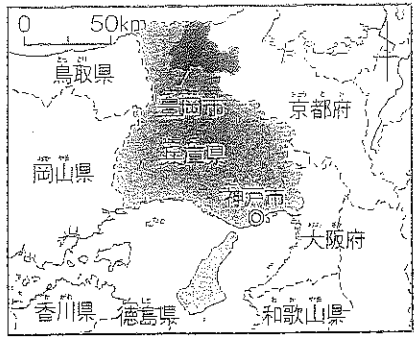
答え→14ページ

1

資料読解力UP よみがえったコウノトリについて、あとの問いに答えなさい。

C 教科書 130～131ページ

コウノトリを自然に帰す取り組み	
1985年	① (当時のソビエト連邦) から6羽のコウノトリをゆずり受け、飼育する。
1992	コウノトリを②に帰す計画が始まる。
2005	コウノトリ5羽を③する。



(1) 豊岡市は、兵庫県の南部にありますか、それとも北部にありますか。左の地図を見て、書きなさい。()

(2) 日本の野生のコウノトリがぜつめつしたのは何年ですか。次の から選んで、記号を書きなさい。()

- ㊦1969(昭和44)年 ㊧1970(昭和45)年 ㊨1971(昭和46)年

(3) 上の年表中の①～③にあてはまる言葉を、 から選んで、記号を書きなさい。
①() ②() ③()

- ㊦カナダ ㊧自然放鳥 ㊨野生 ㊩人工 ㊪ロシア

(4) 次の①～③の文のうち、正しいものには○を、あやまっているものには×を()につけなさい。

- ①()コウノトリは、自然の中でひなを育てる親鳥は見られない。
 ②()豊岡市は、山にかこまれ、大きな川があり、自然かんきょうにめぐまれている。
 ③()コウノトリの巣のまわりには、畑が広がっている。

2

コウノトリを守り育てることについて、あとの問いに答えなさい。

C 教科書 132～133ページ



(1) コウノトリは、学校から帰る子どもたちのすぐ近くにいますか。それとも、遠くにいますか。書きなさい。()にいる。

(2) コウノトリのえさについて、次の文の()にあてはまる言葉を書き入れなさい。
 ◎コウノトリは、()にいる生き物をえさにしている。そのため、農家では、農業を()て、米づくりをしている。

(3) 人々は、コウノトリの巣のために何をしていますか。それを書きなさい。()を植えている。

2 特色ある地いきと人々の暮らし ① 4年 番名前

教科書のまどめ ()にあてはまることばを書きましょう。

答え→14ページ

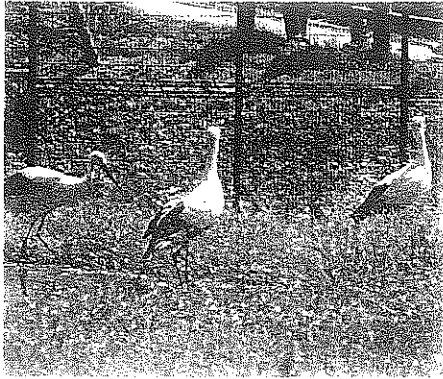
まどめ

1

日本にいた野生のコウノトリはぜつめつしたが、今は人工飼育をしたコウノトリを自然に帰している。

教科書 130-131ページ

よみがえったコウノトリ



▶日本にいた(①))のコウノトリ
⇒100年ほど前から数が(②))た。
⇒1971(昭和46)年には、ついに(③))した。

▶豊岡市での取り組み

⇒コウノトリを(④))
飼育をして、(⑤))
に帰す取り組みをしている。

どうして、野生のコウノトリはいなくなってしまったのだから?



コウノトリ

写真を読み取る

コウノトリがよみがえった理由を考える

- ▶豊岡市は、どのような(⑤)(⑥))なのを読み取る。
- ▶コウノトリは、どのようなものを(⑦))、どんな(⑧)が合っているかを調べる。
- ▶地いきの人たちは、どのような(⑧))をもっていたのかを考える。

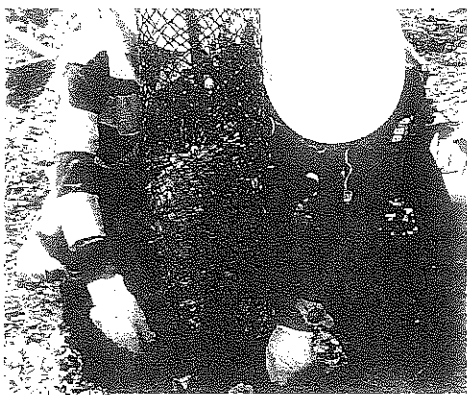
まどめ

2

コウノトリは、田にいる生き物をえさにしている。また、人は、コウノトリの巣となる木を植えている。

教科書 132-133ページ

コウノトリを守り育てる



植樹をする子どもたち



コウノトリは、(①))の人や学校から帰る子どもたちのそばにいる。



コウノトリは、(②))にいる生き物をえさにしている。

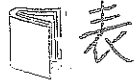


巣になる(③))を植えている。

大切なことは

自然かんきょう

11/14 社会科宿題 解答



表

教科書のまとめ

- ☆ ①野生 ②へっ ③ぜつめつ ④人工
⑤自然 ⑥かんきょう ⑦食べ ⑧願い

- ☆ ①農家 ②田 ③木

大切なことは

●自然かんきょう…生き物は、すべて、そこに住む土地の自然かんきょうにささえられて生きている。この自然かんきょうがこわされると、生き物に大きなえいきょうが出る。



裏

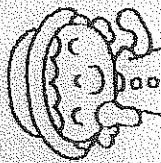
教科書のトレーニング

- ① (1)北部
(2)㊷
(3)①㊸ ②㊹ ③①
(4)①× ②○ ③×

- ② (1)すぐ近く
(2)①田
②へらし
(3)木

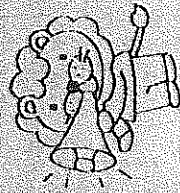
- ③ (4)①今では、自然の中でひなを育てる親鳥を見られるそうである。
③コウノトリの巣のまわりには、畑ではなく田が広がっている。

国語② 単元テストのお知らせ



12月5日に「漢字50問テスト」をします。

本日(11月14日)、お渡^がしした漢字の復習プリントと
全く同じです。がんばって下さい。



漢字を書きまじらて。一線の言葉は、漢字と送りがはなして書きまじらて。

答点

① 具体 れい。

⑪ リき 作。

⑲ 放 か 俣。

⑳ 音 せい。

㉑ 朝 はん。

② 愚天 こう。

⑫ べんこ し。

⑳ ふ 安定。

㉒ () 色 が かわる。

㉓ しょう 竹 と 梅 は。

③ 衆 き。

⑬ 山 みやく。

㉔ () 学校 に か よ う。

㉕ たね を ま く。

㉖ 箱 の そく 面。

④ けいさつ かん。

⑭ 半 けい。

㉗ 空 はく。

㉘ さん 歩 す る。

㉙ 新しい し 想。

⑤ かん 成 す る。

⑮ 二十 一 世 き。

㉚ とく 別。

㉛ あき や。

㉜ 交 さ 点。

⑥ えい 語。

⑯ し 名 を 書 く。

㉝ ち 識 よ う。

㉞ ぞく 出 す る。

㉟ 記 ねん 日。

⑦ かい 画。

⑰ 二 ちよう 円。

㉞ 機 かい 化。

㊱ () まる い テーブル。

㊲ 三 れん 休。

⑧ こう 空 機。

⑰ 三 おく 人。

㊳ () だ よ り が と と く。

㊴ 駅 の ふ 近。

㊵ こ 定 す る。

⑨ 投 ひよう。

⑱ しん 林。

㊶ り 用 す る。

㊷ () 荷 物 を お く 。

㊸ じゆう 人 と 色。

⑩ 一 ぼう する。

㉑ りよう 金。

㊹ 名 ふだ。

㊺ 右 せつ する。

㊻ 新 まい。

1月14日2015

① 具体 **例**。

② 愚天 **候**。

③ 樂器 **器**。

④ けいさつ **官**。

⑤ **完**成する。

⑥ **英**語。

⑦ **絵**画。

⑧ **航**空機。

⑨ 投 **票**。

⑩ 一 **望**する。

⑪ **力**作。

⑫ べんこ **士**。

⑬ 山 **脈**。

⑭ 半 **径**。

⑮ 二十一世 **紀**。

⑯ **氏**名を書く。

⑰ 二 **兆**円。

⑱ 三 **億**人。

⑲ **森**林。

⑳ **料**金。

㉑ 放 **課**後。

㉒ **不**安定。

㉓ (通う) 学校にかよう。

㉔ 空 **白**。

㉕ **特**別。

㉖ **知**識。

㉗ 機 **械**化。

㉘ (便利) たよりがととく。

㉙ **利**用する。

㉚ 名 **札**。

㉛ 音 **声**。

㉜ (変わる) 色がかわる。

㉝ **種**をまく。

㉞ **散**歩する。

㉟ あき **家**。

㊱ **続**出する。

㊲ (円い) まるいテーブル。

㊳ 駅の **付**近。

㊴ (置く) 荷物をおく。

㊵ 右 **折**する。

㊶ 朝 **飯**。

㊷ **松**竹梅。

㊸ 箱の **側**面。

㊹ 新しい **思**想。

㊺ 交 **差**点。

㊻ 記 **念**日。

㊼ 三 **連**休。

㊽ **固**定する。

㊾ じゆう入 **十**色。

㊿ 新 **米**。

西大和学園補習校四年
漢字テスト

11月14日 ㊸

名前

①から⑩までの読みを書きましょう。

①	新しい仲間
②	努力の結果
③	雪が残る。
④	良い品物
⑤	さくで困む。
⑥	笑い声を聞く。
⑦	残金の不足
⑧	米の改良
⑨	池の周囲
⑩	折り紙の本

①から⑳までの漢字を書きましょう。

⑪	はたをふる。
⑫	ほんのいんさつ
⑬	オレンジぐん
⑭	みずのしょうひ
⑮	きょうりよくする。
⑯	すきなかもく
⑰	にほんのこつち
⑱	かみにする。
⑲	えをこのむ。
⑳	やきいものがすき。

西大和学園補習校四年
漢字テストはんい

11月21日

23

名前

①から⑩までの読みを書きましょう。

①	さい子を養う。 さいしをやしなう
②	反省する。 はんせいする。
③	光を浴びる。 ひかりをあびる。
④	新芽が出た。 しんめがでた。
⑤	全校生徒 ぜんこうせいと
⑥	徒競走 ときようそう
⑦	教養がある。 きようようがある
⑧	無だを省く。 むだをはぶく。
⑨	海水浴 かिसういよく
⑩	大豆の発芽 だいずのはつが

⑪から⑳までの漢字を書きましょう。

⑪	あたらしいなかま 新しい仲間
⑫	どりよくのけっか 努力の結果
⑬	ゆきがのこる。 雪が残る。
⑭	よいしなもの 良い品物
⑮	さくでかこむ。 さくで囲む。
⑯	わらいこえをきく。 笑い声を聞く。
⑰	ざんきんのふそく。 残金の不足
⑱	こめのかいりよう 米の改良
⑲	いけのしゅうい 池の周囲
⑳	おりがみのほん 折り紙の本

西大和学園補習校四年
漢字

11月21日 ㊸

名前

①から⑩までの読みを書きましょう。

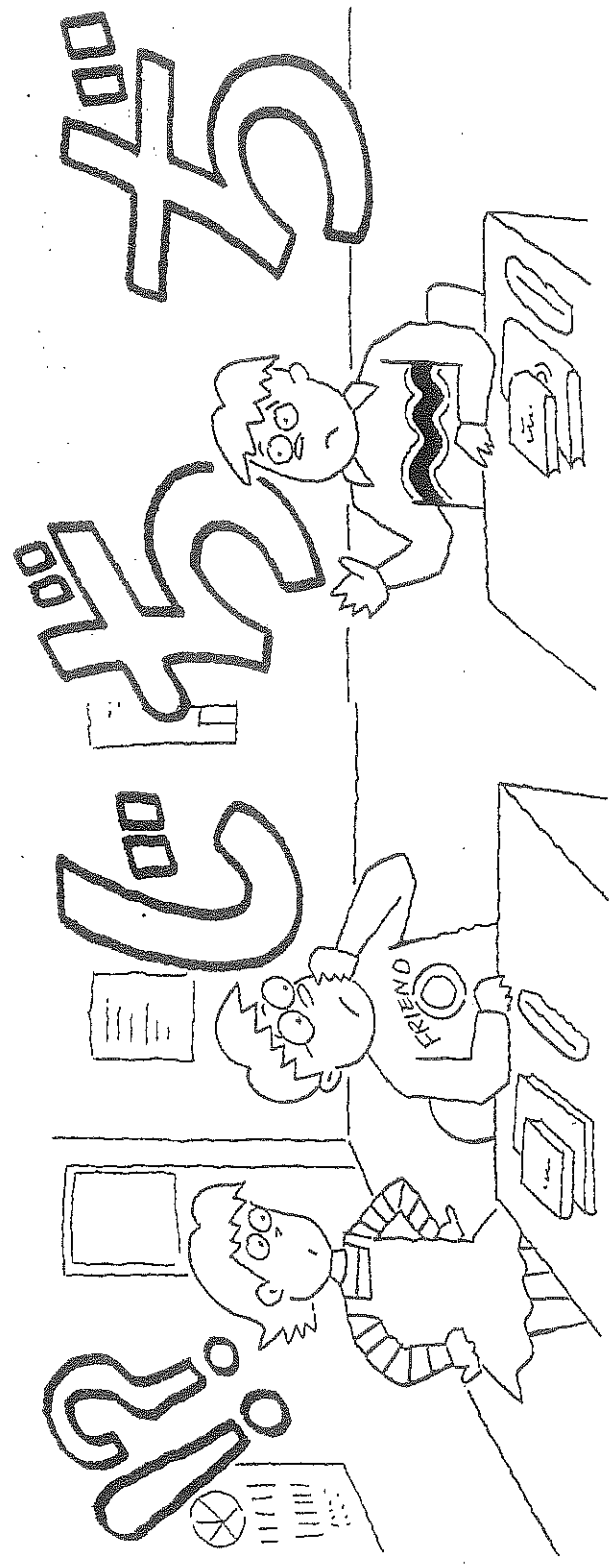
①	さい子を養う。
②	反省する。
③	光を浴びる。
④	新芽が出た。
⑤	全校生徒
⑥	徒競走
⑦	教養がある。
⑧	無だを省く。
⑨	海水浴
⑩	大豆の発芽

⑪から⑳までの漢字を書きましょう。

⑪	あたらしいなかま
⑫	どりよくのけっか
⑬	ゆちがのこる。
⑭	ようしなもの
⑮	ちくでかにお。
⑯	わらうたえをおく。
⑰	ちんちんのふえく。
⑱	いぬのかいりよう
⑲	しけのしゅうい
⑳	おりがみのほん

四年生 国語2 本日の教養

地面は「ぢめん」か「ぢめん」か？



教室で、勇太君が友達に言っています。

「地面」は、平がなで『ぢめん』って書くんだよ」

「え？ 『じめん』と書くんじゃないの？」

「ちがうよ。だって、『地』という漢字は『ち』と読むじゃないか、『地球』とか『地図』とか。だけど『ぢめん』って言いにくいから、『ぢめん』と読むようになった。ね、そういうわけ」

「そうかなあ……」

友達が首をかしげると、勇太君は声に力を入れて言いました。

「ほら、『鼻血』も、『はなぢ』と書くんじゃないよ」

『はなぢ』と書くよね？ あれと同じだよ」

「それとは、ちがうんじゃないの？」

友達も、なかなか引き下がりません。

そばで聞いていた広美さんは、わからなくなってきました。勇太君が言うのもわかるけど、ほんとにそれが正しいのかどうか？

さて――

「地面」の読みがなは、どう書くのでしょうか。

「ぢめん」と書くのが正しいのでしょうか、それとも「じめん」が正しいのでしょうか？

できれば、なぜそれが正しいのかということも、考えてください。

11A40205

【答え】 「じめん」が、正しい読みがな（かなづかい）です。

たしかに「鼻血」は、「鼻」と「血」という二つの語が結びついて、「はな+ち」→「はなぢ」となったのです。同じように「三日月」や「底力」も、「みか+つき」→「みかづき」、「そこ+ちから」→「そこぢから」というような、かなづかいになりました。

しかし「地面」は、「ち+めん」が「ぢめん」になったのではありません。「地」には、もともと「ち」と「じ」という、二とおりの読み方があるのです。

「ち」と読む例——地下 地方 地名 天地 土地

「じ」と読む例——地震 地ひびき 地割れ 布地

この「じ」と読む語の一つが「地面」というわけです。

